



「SAA と例会」

1. SAA：会場監督 (Sergeant at Arms) 「武器を携帯した軍曹」
2. SAA の歴史：最初の SAA は、シカゴクラブの最初の「定款」起草者でもあった Paul Harris、Max Wolf、Charles Newton の 3 人。
3. SAA の職権、職責、職務
 - ① 例会の進行
 - ② 例会会場の開門、閉門
 - ③ 早退遅刻の承認、否認
 - ④ 私語に対する警告
 - ⑤ 卓話の時間を守らせる
 - ⑥ 例会上の秩序を乱す行為に対する警告と退出命令
 - ⑦ テーブルの配置や座席の指定
 - ⑧ ニコニコの管理、募金条件の承認
4. 龍野クラブにおける SAA の役割
 - ① 例会の開会、閉会の宣言
 - ② 例会が秩序正しく行われるよう監視、警告
 - ③ ニコニコ箱の管理
 - ④ SAA 担当例会

上記以外は、例会委員会、親睦委員会、事務局、理事会などと分担するだけでなく、会員同士の互助の精神でカバーされている。一人の SAA で 8 項目の職務を遂行するには無理があるため。

5. 「源流の会」HP より 田中 毅 (たけし) パストガバナー

『例会場の管理権者であることから、強いリーダーシップが要求されるので、会長経験者およびロータリアンとして経験が深い会員より任命することが望ましく、更にその役職の重要性を考えると、副 SAA を含めて全会員の 10% 以上の数が望ましいとされています。』

『ニコニコ箱は日本特有の制度であり、外国にはこの風習はありません。従って SAA がニコニコ箱の管理をするのは日本特有の習慣であって、SAA の本来の職務ではありません。』

6. 例会について 国際ロータリー第 2800 地区・山形の資料より

ロータリアンに知っておいて欲しい「例会のこと」

- ① 国旗掲揚と国歌斉唱：例会場には国旗が掲げられ、毎月の第一例会では国歌を斉唱する。
- ② 点鐘：例会に限らず様々な会合は、点鐘で始まり、点鐘で終わる。1920 年頃、東京クラブの例会で点鐘が行われており、それを他のクラブが真似ていったと言われている。
- ③ ロータリーソングの起源：シカゴクラブ発足当時「親睦・互恵派」と「奉仕・拡大派」に分

かれてしまい、例会の度に激論が交わされるようになった。その刺々しい雰囲気や和らげようと、Harry Ruggles は、一緒に歌うことを皆に呼びかけそれが習慣となり、その習慣が米国の多くのクラブに波及したとされている。

- ④ 日本のロータリーソング：ロータリーソングは、現在、世界で 140 曲以上あるそう。日本でよく歌われるのは「奉仕の理想」「我等の生業」「それでこそロータリー」「四つのテスト」「手に手つないで」他
- ⑤ 卓話：例会後半の約 30 分間に、クラブ会員や外部の招待講師から話を聴くことを卓話と呼ぶ。
- ⑥ ニコニコ箱：会員に喜びや祝い事があった時や、早退やバッチ非着用のペナルティを「ニコニコ箱」に寄付を入れる日本特有の習慣。
- ⑦ 意義ある例会：クラブの例会の在り方は以下のとおり。
 - (1) 会員の事業、生活、生き方に有益な情報を提供する場
 - (2) 会員同士が知識や意見を交換し、経験を語り合い、誠実な人柄に触れ、敬愛の念を深めていく場
 - (3) 奉仕の心を学び、理解し、実践の意欲が湧き上がる場であり、『ロータリーの目的』実現のために最大限の活用が必要とされる『学びの場』でなければならない。米山梅吉の言葉「ロータリーの例会は、人生の道場である」
1947-48 年度 Kendrick Guernsey RI 会長「入りて学び、出でて奉仕せよ」
1954-55 年度 Herbert J Taylor RI 会長「ロータリーは友情を作り、人を作る」 1974-75 年度 William R Robbins RI 会長「ロータリーの第一の仕事は、人作り」→現在は月に少なくとも 2 回の例会を開けばよいことになっている。
- ⑧ 例会出席：例会出席は、ロータリークラブ正会員の最も基本的な義務。「例会出席は義務というより、むしろ権利である。」という人も多い。
- ⑨ メークアップ：他のクラブの例会や所定の会合に出席し、例会欠席を補填することを指す。
- ⑩ 例会での討議：クラブ用務、活動、クラブ行事、クラブ細則の変更などについて、討議のための例会を定期的に関開くよう奨励されている。主なものにクラブ・フォーラムとクラブ協議会がある。

「クラブ・フォーラム」：クラブ会員による討論会。主催は各奉仕部門の委員会で、部門毎に少なくとも年 1 回の開催が奨励されている。

「クラブ協議会 (Club Assembly)」：クラブの役員・理事・委員会の委員長を含むクラブ会員全員の会合で、クラブのプログラムと活動、会員教育について協議するために開かれる。
- ⑪ クラブに必要とされる、または奨励されている例会プログラム：RI 理事会での決定内容
 - (1) ロータリー情報・教育・リーダーシップ研修を提供するための例会を定期的に関開くべき。
 - (2) 特別月間プログラムを促進するために一つあるいはそれ以上の週例プログラムを提案すべき。
 - (3) 各ロータリー年度に少なくとも 2 回（そのうち 1 回はロータリー財団月間に指定されている 11 月）、ロータリー財団の目的やプログラム、および寄付増進活動に関するプログラムを取り上げた例会を設けるべき。
 - (4) 地元の人々にクラブの役割とその目的を理解してもらうため、例会に招くよう会員に奨

励。

- (5) 大学などの学生にロータリーの理念や基本原理を理解してもらうため、クラブ例会にゲストとして招くよう奨励。
 - (6) ロータリーの学友、特にクラブの所在地に最近転居してきた学友をクラブ例会にゲストとして招くよう奨励。
 - (7) 言葉の障壁や文化的、社会的背景の相違から生じる困難を克服するのに役立つ手段として、自国以外の国の文化、経済、地理的な状況に関するプログラムを設けるべき。
- ⑫ 会場監督 (SAA)、クラブ、例会の中止、ロータリーの親睦 (fellowship)、例会出席率の計算方法：割愛